

く にたちタウンミーティング ～ 市長とともに市財政を考える秋 ～ 開催報告

	開催日	場 所	参加人数	天気
1	平成 24 年 11 月 13 日(火) 午後 7 時～9 時	西福祉館 大広間	18 人	晴れ
2	平成 24 年 11 月 15 日(木) 午後 7 時～9 時	南区公会堂 フレスポホール	28 人	晴れ
3	平成 24 年 11 月 17 日(土) 午後 7 時～9 時	く にたち北市民プラザ 第 1・2 会議室	11 人	雨
4	平成 24 年 11 月 18 日(日) 午後 2 時～午後 4 時	東福祉館 集会室	18 人	晴れ
5	平成 24 年 11 月 18 日(日) 午後 7 時～午後 9 時	公民館 地下ホール	22 人	晴れ
6	平成 24 年 11 月 19 日(月) 午後 7 時～午後 9 時	国立市役所 第 1・2 会議室	21 人	晴れ
合 計(延べ人数)			118 人	

く にたちタウンミーティングの目的

市の財政状況や 8 月に財政改革審議会から提出された中間答申の内容について市民の皆さまに直接報告し、市民の意見を聴くことにより、今後の市政運営に活かしていく。

く にたちタウンミーティングで出された市民意見等一覧

同様の趣旨の質問・意見はまとめて表示しています。

参加いただいた方の発言及び提出いただいたアンケートの要点記録です。

同一人の発言でも、カテゴリー別に切り分けて表示しています。

く にたちタウンミーティングについて

タウンミーティングの進行について

- ・タウンミーティングを開催する目的は。(南)
 - ・少なくとも財政改革審議会の会長は出席すべきだったのではないかと。(東)
 - ・市の改革についての理解を求め、管理職がそろう姿に市の力の入れ方が感じられる。
(公ア)
 - ・市長以下全部長まで参加する必要があるのか。(北ア)
 - ・市側の説明が長い。改善してほしい。(西)
 - ・人数が集まったので、あたまたの説明は 20～30 分程度に。(西ア)
 - ・市民の参加が少なくがっかりした。(西ア)
 - ・義務的経費についてもう少し詳しく説明してはどうか。(北ア)
 - ・きちんと司会の方は仕切ってほしい。(西ア)
 - ・司会がはじめに注意したことが守れない市民がいたのは残念。(東ア)
- ##### タウンミーティングでの対話内容について

- ・過去の市長・市議会に責任を求める発言が何度もなされていたが、責任逃れに見え、見苦しい。(北ア)
 - ・落とし所は大変難しいことは理解できるが、市の目指す実現したい市のあり方が伝わってこない点は残念。(公ア)
 - ・話を聞いて、市長が精力的に動いていることがわかった。(市)
- タウンミーティングでの市民意見について
- ・タウンミーティングで出た意見について、市は検討してほしい。(西)
 - ・タウンミーティングの趣旨が違うのではないか。市民の意見を尊重してほしい。(東)
- タウンミーティングの継続実施について
- ・初めて参加したが、大変良いことだと思う。(公ア)
 - ・市民の意見を参考にするのであれば、もう少し市民が参加するような項目の設定とか、開催日時場所、時間等とともに、もう少し質問時間を長くできないか。多くに市民が興味を持って参加できるよう検討してほしい。(北ア)
 - ・今後も広く市民の声を直接届けられる場を設けてほしい。(南ア)(市ア)
- タウンミーティング以外の手法検討について
- ・反対派のデモンストレーションの場の設定という点において、意味はあるのか。別の形態で違った切り口でより市全体の意見を収集したり分析したりでき、またその流れを開示できる仕組みが欲しい。他市で導入されている「e モニター」制度等、納税者の声を拾い集めに積極的に行政が出ていくことが必要ではないか。(公ア)

国立市財政改革審議会について

財政改革審議会の運営について

- ・国の審議会では事務方がリードしてやっているようだが、この審議会はどのような形でやられているのか。(北)
- ・「行政サイドが作成したものを審議会が承認する」という従来型のものとは変わらないとの印象が強い。市民に厳しい施策の根拠を審議会答申に求め批判回避しているように思われる。(北ア)
- ・審議会では現場の切実な声が出てこなかった。市民の実態も語られなかった。(東)
- ・審議会への要請を出したが、事業計画の内容には触れられていない。審議会は計画の内容や市民の意見をみて、検討する努力をしてほしい。(公)
- ・審議会の意見書の取扱いについて、回覧ではなくきちんと紹介し議論してほしい。(公)

財政改革審議会中間答申について

中間答申全般

- ・財政改革審議会では予算ベースでの審議が行われ、このことが値上げの答申となった原因である。(西)(東)

- ・中間答申の内容で多摩地域あるいは類似団体と比較してという言葉が出てくる。また、赤字繰出を減らし市独自のサービスを削るという内容なら、事務局で出せたのではないか。工夫がない。(西)(東)(市)
- ・関口市政の健全化計画とほとんど同じ。目新しいところを教えてほしい。(公)
- ・市の今後の大きな計画と財政計画がどうなっているのかという視点が中間答申にはほとんどない。きちんと検討する必要がある。(南)
- ・市民の生活実態も考えないと、市財政が苦しいから市民の皆さんに負担しますと言われるてもきわめて一方的である。(南)
- ・計画されている事業はやって、健全化方策をしなければこうなる、という理解をしたが、計画されている事業は本当に必要なかをもう一度考えてみる必要があるのではないか。地方債を借り入れて実施する事業の見直しをするつもりはあるのか。(北)
- ・国立駅前の大型開発をしなければ値上げはしなくて済む。(西)(公ア)
- ・財政が厳しい中、駅前にお金をかけるのはおかしい。取りやめるべき。優先順位を考えるべき。(西)(東)(公)(東ア)
- ・医療の関係は一切触れられていないが、改善する部分はないのか。(北)
- ・借金をしないでお金を貯めてから事業をやるという判断もある。(北)
- ・抜本的に他市と並ぶのではなく、その中で国立市のいいところをどう残していくのかという観点にしないと、数字だけの平均を出しても何の意味もないだろうし、国立の良さもなくなるだろうし人も少なくなるし赤字も増えるだろうと思う。(東)
- ・中間答申では国立市の魅力が削られてしまっている。国立市の魅力とは一体何であると考えているのか。(市)
- ・12 億円全部を一律にやるのではなく、比較的説得力のある項目と国立市の基本性格から考えて難しい項目がいろいろあると思う。(東)
- ・第三者委員会を設置し、職員全員が横の関係も持ちながら財政改革に取り組んでほしい。(東)
- ・消費税引き上げにより、市の税収が 7 億円くらい増える。それにより赤字はほとんどゼロになるのではないか。市民負担を求める必要はない。答申は差し返すべき。(公)
- ・財政改革審議会を傍聴したが、市民負担の見直しばかりが話題になっていた。(市)
- ・これからの高齢化に向けてという言葉が出ていたが、諮問内容と違うのではないか。(市)
- ・市長の思いと関わりなく財政をどうしていくことだけで中間答申が出されているということがよくわかった。(市)
- ・中間答申では財政至上主義が強すぎる。市民の暮らしの立場やそもそものあり方から考えることが大事。(公)
- ・中間答申だけで様々な値上げをする必要はない。市民が今まで望んできた市政の財政のあり方を継続してほしい。子育てしやすい財政計画を立ててほしい。(市ア)

- ・中間答申の項目に公共工事に関する項目がない。(東)
- ・中間答申に対する市長の思いを聞かせてほしい。(市)

国立市の現状と課題

- ・財政状況を厳しくした理由が三つ書かれているが、下水道事業及び三位一体の改革等については一市民の意見ではどうにもならず、こういう部分は市の担当部署が専門的に検討するものではないのか。(北ア)
- ・財政が厳しくなった理由として交付税の減や補助金の削減とあるが、国や都へどのような要望をあげているのか。(公)
- ・義務的経費の中には生活保護費や子ども手当、自立支援給付費も含まれ、国や都の補助があるにもかかわらず答申では総額が記載されている。これは脅かしではないか。(東)

市財政のあるべき姿と改善目標の設定

- ・「国立問題」とあるが、一つ目は類似団体共通の赤字構造であるが、それプラス国立市が市議会を含め何もやってこなかったということになると国立市が類似団体に比べてひとときわ財政が悪いということになる。他市に比べてそこまで国立市はひどいのか。(北)
- ・「国立問題」とあるが、社会的・法律的に問題があるのか。軽率である。具体的にどうということなのか。(公)
- ・「国立問題」は国の立場であり、市民の立場に立っていない。(公)
- ・「国立問題」とあるが、魅力あるまちづくりにとっては必要なもの。地方自治体はこれを目指さなければならない。(公)
- ・「負担は低くサービスは上乘せ」とあるが、中身が出ていない。多摩 26 市の決算比較を見ると、土木費が類似団体よりもプラス、民生費と教育費はマイナス。市民の実態を受け止めたものではない。(東)
- ・12 億円の数字の根拠がわからない。決算で見るとはいいではないか。(公)
- ・平成 23 年度の決算ではいくらの赤字になったのか。12 億円に比べると実際ははるかに少なかったのではないか。(西)(東)(市)
- ・審議会では 12 億円を目指し、公共料金の値上げ、サービスの抑制を行うようだが、平成 23 年度決算では赤字は 2 億 3 千万円であり、大型開発をやめればそれを全く行う必要がないのではないか。すべて取りやめてもらいたい。国立駅周辺まちづくりに対する市民の支持はきわめて少ない。(公)
- ・12 億円は赤字をなくすための数字だと思うのに、一方で「組み替えで新たな魅力ある事業ができる」と書かれている。どこに根拠があるのか。(市)
- ・12 億円が必要なら、まず 15 億円くらいを積み上げて、そこから議論するアプローチが民間的である。目標の設定が甘い。(公)
- ・今後 12 億円財政上のマイナスが発生するとなるとなっているが、7 億円という記述もある。今後 4 億円くらい足りないのか。(市)

市財政運営の基本的あり方

- ・6つの視点で足りないものがある。市財政を考える上では、国や東京都との関連が強い。例えば、国保値上げなどでは国がもともと半分近く負担していたが、段々減らして市や市民の負担させられている実態がある。こういう視点を持って対応して欲しい。(南)
- ・「魅力あるまちづくりを着実に実行できる…」とあるが、今まで出てきた内容のほかに、もっと別の投資事業があり、お金が必要となるのか。(市)

財政健全化のための具体的方策

具体的方策全般

- ・健全化項目には不健全ではない項目もある。市長として市の政策としてここは守るという考えをもって新年度予算を市民に示して行ってほしい。(市)
- ・負担を上げる内容があるが、具体的にいくら上げるのかという詳細はいつ頃出るのか。(市)

行政の徹底的な合理化から

<職員人件費>

- ・先週の東洋経済に掲載されていた「財政力ランキング」では、国立市は全国1,600のうちで86位である。一方、経常収支比率は516位で非常に低く、これだけが突出している。職員人件費については、5月の東洋経済では全国1,700の市町村で上から数えて66位となっており、非常に高レベルである。都の水準に合わせたと言うが、よく考えると周りの自治体では10年も前からやっていたことであり、削減ではなく極めて当たり前の世界に戻しただけ。ここからいくら削るかが市民に対する責任である。3月11日の後、国家公務員は現行の給与水準から1割カットを行った。国立市もプラスアルファでこういったことをやるのであれば非常に説得力のある材料となる。(西)
- ・住宅手当が支給されているが、国家公務員は廃止され、地方公務員に対しても国が勧告をしているが、国立市はまだ廃止していない。(西)
- ・東京都は職員退職金を13%引き下げる発表をした。国や都の様子を見て検討しますというが、財政再生団体になろうかということで市民にいろいろ負担をかける時にやはり自分たちに甘い。(北)
- ・58歳で昇給停止というが、民間はそれどころではない。市の職員給与は一部上場企業とそん色ない。東京都に先駆けて年齢を引き下げるなど、切り込んでほしい。(公)
- ・公務員の給料が下がると民間も下がる。(南)
- ・職員の手当を削るのは反対。職員は誇りを持って仕事をしてほしい。(東)
- ・職員削減は反対。共済年金の方が大変。(公)
- ・財政が厳しい中、市民のために頑張っている職員を締め付けるのは職員にとっても市民にとってもつらいこと。(公)
- ・職員給与等は冷静な対応が必要。身を切ることは必要だが、しっかり仕事をするの方が重要と思う。(北ア)

< 全事務事業の見直し >

- ・予算の執行について不信感をもっている。予算の一つ一つをチェックしてもっと削れるはず。(北)
- ・行政の合理化は必要と思うが、健全化個別項目の他にもっと検討する部分があるのではないか。(北ア)
- ・無駄・不正の削減を徹底すべき。癒着・馴れ合いがあれば一掃の努力を。(北ア)
- ・「くにっこキッチン」のような行事をあらゆるところでやっているが、歳出の見直しと整合が取れていない。徹底的にやってからでなければ、値上げは受け入れられない。(西)
- ・全世帯の 19% が就学援助を受けている事実がある。国立市は所得階層が高い人が多いという説明と合わない。支給が甘いのではないか。支給が甘いのであれば改善しなければならない。(西)
- ・監査委員事務局は必要ない。他市に働きかけて民間に委託をすれば人件費を減らせるのではないか。(西)

< 議会費 >

- ・国立市の市議会議員数は多い。国立市は全国で 3 番目か 4 番目に小さい市であること、市街地が古くから整備されていることから、議員数は 10 名か 12 名でよい。(西)
- ・国立市は人口が 7 万 4 千人で議員定数が 22 名は多い。15 人か 20 人で足りる。議員歳費が一人約 50 万円は多すぎる。(西)(西ア)
- ・議会費が多摩 26 市で 2 位となっている。もっと報酬は減らせるはず。(西)
- ・議会費を半額にしてほしい。手当はなくても国立をよくしたいという思いがあれば手当は関係ない。(東)

特別会計の健全化を

< 国民健康保険特別会計の赤字補てんの圧縮 >

- ・値上げすると滞納もさらに増える。滞納を増やさずに国民健康保険税をどう考えるのかという視点も必要。(南)
- ・国民健康保険税の負担が低く、なぜ放置されてきたのか疑問だが、一気に上げるのはどうかと思う。(北)
- ・過剰受診する問題などの不正にはしっかり取り組んでほしい。(北)

< 下水道事業特別会計繰出金の圧縮 >

- ・平準化債の活用を考える必要があるのではないか。(南)
- ・借り換えして別から借りるということはできないのか。(北)
- ・下水道使用料の改定はなぜ具体化しないのか。昔は一夏に 3 回か 4 回あった水つきが下水道の整備によりなくなった。十分に説明すれば市民も納得すると思う。(東)

補助金・負担金等の見直しを

< 補助金・負担金等全般 >

- ・負担金・補助金は平成 23 年度で 31 億円あるが、事務報告書を見ても内容がさっぱり

わからない。一律カットしても市民が大打撃を受けないのではないか。(北)

・補助金・負担金の見直しについて、今後どう進めていくのか。しがらみを断つ覚悟が必要である。(北)

・補助金を出し始めたころの市の財政状況と異なり、財政が悪化し実質増税をしなければいけなくなった現在、同じ相手に相も変わらず交付し続けることが公益上必要なのか。(北ア)

< 扶助費全般 >

・福祉では、現金給付型の福祉からサービス型福祉に転換されてきているが、予算上ではいまだに現金給付型が残っている。(北)

・長寿祝い金について、他市の友人に聞いてみたが、現金をもらったものはおらず、現物支給が多かった。(東)

・民生費とはどのような内容なのか。ここには手を付けられないのか。(南)

・民生費に思い切って手を付ける様に。住民の甘えがあるのでは。(南ア)

・民生費の支出が多いこと、誇りに思うべきだと思う。(南ア)

行政サービスと事業の適正な負担を

< 総合体育館施設使用料(グリーンパス) >

・ようやくグリーンパスをもらえて喜んで通って、多くの人と知り合った。来年度から有料化ということで驚いている。このような国立市の魅力が聖域なく見直しとなっている。(市)

・グリーンパス制度は、一人の人として考えるとバランスが取れている。(市)

・グリーンパスはもう少し利用者の方にご負担いただきたい。(市ア)

< 自転車駐車場使用料 >

・景気が悪化している中、専門学校生や大学生の軽減措置をとったらどうか。他市では免除・軽減措置している。(北)

< 家庭ごみ処理手数料 >

・多摩地域 19 市が導入しているから有料化するという論理であるが、ごみ問題審議会ではこのような考え方はやめようと言うことでスタートしている。審議、資料が十分ではない。(西)

・家庭ごみ処理手数料の有料化については、これまでの市政でも市議会と対立していたが、本当にやりたいのか。(市)

・23 区は家庭ごみを有料化していないと聞いたがどうなのか。(市)

・年代問わず有益なものなので何とか無料でお願いしたい。(市ア)

市民サービスの向上・効率化を

< 資産の有効活用 >

・市の遊んでいる資産を処分し、市民負担を減らすことを真剣に検討していただきたい。(市)(公)

・国立は安心安全でやさしい街、ブランドがある。土地が高いということは、逆に効率化し土地を売れば資産ができる。機能として必要なのか、代替できないのか等々含めて考えていただきたい。(公)

・菅平用地は今どうなっているのか。(西)

・商工会、医師会、歯科医師会の地代を役所が立て替える必要はない。(東ア)

<施設民営化(保育園等)>

・公立保育園民営化の話があるが、保育審議会の答申もあり、こちらも十分尊重してほしい。(南)(東)

・民営化すると効率が良くなり負担が減るということではなく、国立市の負担が国や都支出金に振り替えられるが、国民の同じポケットからお金が出るという理解で正しいのか。(北)

・保育では乳幼児の命がかかっているが、負担という発想だけで捉えるのはいかなものかと思う。節約された財源の一部を待機児解消や発達しょうがい児の対応へ投入することが可能になると書いてあるが、正直あまり信用できない。もともと負担を減らそうという発想なのに、本当に保育や命にかかわる事業に回す保証はあるのか。(東)

・「…公立と私立の質に差がないと考え…」と書いてあるが、財のために子供に我慢しろということか。(東)

・民間に移行しても、運営費補助を減らすことにつながり、歯止めが利かない状態になる心配がある。そうすると必ず人件費にしわ寄せが行く。(東)

・民営化することで課題も生まれているはず。検証をしてほしい。不安を汲み取り、財政だけでなく子どもの観点からみた民営化の検討をしてほしい。(公)

・国立市でも保育園には100数十人の待機児が出ている。選びたくても選べない状況で決まった園に入る人もいる。それすら選べなくて認証や市外の認可外に通わせている人もいる。今まで大きな事故が起きていないのは、現場の人のものすごく大きな努力があることをわかってほしい。(東)

・子が発達しょうがいをもっているが、公立保育園は同じ先生が見てくれるので安心して預けられる。民間にかわると子供における影響が大きいことを危惧。(公)

・「…国立市は後れを取っている…」とあるが、後れではないのではないか。子どもにしっかりお金をかけて見ていくという市の姿勢を誇りに思うべき。(公)

・代替できるものはどんどん民営化すべき。(公)

・審議会では保育に関する専門の方がいない中で、今後どう審議を進めていくのか。保育審議会の答申を委員に読んでいただきたい。公立も私立も同じとは言えない。(公)

・保育審議会のメンバー選定の際には必ず関連団体の意見を聞いて参考にしてほしい。(公)

・「…市民や利用者への周知を行い、理解を得ることが重要…」とあるが、これまでの

市の取り組み状況を聞かせてほしい。(市)

市民の福祉向上と魅力あるまちづくりのために

<「365日24時間安心・安全なまちづくり」の実現>

- ・若い方がずっと住んでもらえることが必要。子どもを育ててずっと住んでもらえるようなまちづくりをしてほしい。若い方に対するまちづくりについて詳しく聞かせてほしい。(市)
- ・ここ10年の国立市を見てきたが、先人が作ってきた国立市の魅力を食いつぶしている。大きな土地が小さく切り売りされ、緑が少なくなっている。市長としてどういうまちづくりをしていくのかをはっきり示すべき。(市)

学校教育

- ・資料7pでは、個人市民税が3位であるが教育費は16位である、その理由は、教育費が低いのは奇異である。教育が一番大切である。(市)
- ・国立市は文教地区に指定されているというが、公立小中学校の学力レベルはどうなっているのか。フラッグを上げるならばそれに伴う成果を上げていただきたい。(南)
- ・国立市が文教地区なので移り住んでくる人もいますので、教育費や高齢者にお金をかけてほしい。(公)

発達しょうがい児の支援

- ・市内に発達支援センターがない。国立市は遅れており困っている。乳幼児の成長の支援で子どもの先が変わってくる。(公)

国立駅周辺まちづくり

- ・国立駅のまちづくりは進んでいるのか。(南)(東)
- ・駅周辺の議論を聖域にしている。なぜ触れないのか。(東)(公)(市)
- ・国立の街はすでに出来上がっている。なぜお金をかける必要があるのか。(公)
- ・駅周辺の商店街の発展・にぎわいにつながり、かつ市に財政的な余裕があるのであれば、条件付きで賛成。(市)
- ・旧国立駅舎はどういう状態になっているのか。(西)
- ・交番前の横の通りはどうなるのか。(東)
- ・駅高架下への図書館設置はかなり困難なのか。(市)
- ・複合施設の建設にあたりPFIを導入するなどの検討はまだ進んでいないのか。まちづくり会議の委員に商業コンサル・経営コンサルを入れて具体的な計画をつくるよう前進すべきではないか。駅周辺の収支見積もりが市財政に関連してくる。(市)
- ・中央ラインモールが高架下の事業をやりたいと聞いている。市と協力して事業をして行くのが良いと考えるが、市長はどう考えるか。(市)
- ・駅周辺まちづくりについて、改めてタウンミーティングを開催してほしい。(市)(公ア)

都市計画道路3・4・10号線

- ・平成23年度に都市計画道路3・4・10号線整備事業に使ったお金はいくらか。(西)

- ・中央線より北側はどうなっているのか。(東)
- ・生活道路の整備が求められているのに、通過交通を引き込む道路はつくるべきではない。国立らしさから見ても見直すべき。(東)
- ・都市計画道路は今なぜやるのか。財政も厳しいし、国立の街のバランスが崩れる。(公)

南部地域

- ・南部地域をどのように活用しようと考えているのか。財政に寄与できる仕組みを編み出してもらいたい。(南)

産業振興

- ・産業振興について、どのような産業を呼ぶつもりなのかが見えてこない。知的集約産業に集中してやらないと。物流センターはいずれ動いてしまう。(南)
- ・市の産業をどう育成するかが非常に重要。(南)

その他

市財政全般

- ・市税及び国庫補助金以外に収入増を図る必要はないのか。(北ア)
- ・起債そのものの借り換えはどうしてもできないのか。財務省に要求してほしい。(市)
- ・財政が厳しいことが明々白々であるにも関わらず、市職員から市長に対して突き上げがなかったのは民間では考えられない。(南)
- ・国立市の徴収率はどうなっているのか。また、徴収率を 100%に限りなく近づける努力を具体的に聞かせてほしい。(南)
- ・国立市の税金、職員の給与は高いのか。(南)
- ・資料 7p の収入と歳出の表には、その他の項目があるということで良いか。(市)

学童保育育成料について

- ・学童の退所者が増えていると聞いている。退所人数をどうとらえるのか。(西)(南)(公)
- ・子どもの生活に合った魅力ある学童にし、お金を投資してほしい。(公)
- ・市長の発言は学童に非常に後ろ向きでとても残念。子どもが心から行きたいと思える学童づくりをぜひ願う。ぜひ保育審議会で話し合ってください。(公ア)

住基ネットについて

- ・住基ネット接続に感謝する。(西)
- ・住基ネット接続は税金の無駄遣い。(西ア)

訴訟について

- ・財政が厳しい中、なぜ、税金を使ってまで元市長、前市長に対する裁判を起こすのか。(西)(公)

その他市政に関すること

- ・地方自治体は国とは異なり足元を見つめるのが存在価値。市民の生活第一で行政に取り組んでほしい。(北ア)
- ・ノルウェーは日本の国民総生産より低い国であるが待機児童はいない。お金の使い方を見直すべき。(東)
- ・社会保障ははたして保険制度でいいのか。国民的議論をするべき。(公)
- ・かつて都営北アパートの前に駅設置の動きがあったが、今後市側が申し入れて駅を作る考えはあるのか。(市)
- ・国立市の借金がいくらになるのか年単位で市役所内でわかるようにしてほしい。(東ア)
- ・市役所の市民ロビーは工事で2つのテーブルで我慢している。工事期間中、2階の応接室を開放できないか。(東ア)
- ・工事請負契約の中で落札率100%というものがあるが、どうしてか。(北)
- ・工事請負契約で遠藤組という名前がやたらと出てくる。非常に満額に近い数字で工事を請け負っており非常に不自然である。(北)
- ・トイレ清掃費として小中学校合わせて1千万円近いお金で中村組が落札しているが、3年連続同額で落札している。(北)
- ・大震災の影響により節電が呼びかけられていたが、商店街の装飾灯補助として前年度とほぼ同額の770万円を支給している。(北)
- ・自然エネルギーの利用で検討している事業はないのか。(北ア)
- ・しょうがい者で生活保護の人は国立では生活できない。(南ア)
- ・国立市は道路の割合が多いのか。(東)
- ・国立の税金は高すぎ、暮らしにくいと言っていた。子育てしにくい。(西ア)
- ・国立市の水道料金は高いのか安いのか。(南)

<注 釈>

- (西)・・・西福祉館
- (南)・・・南区公会堂
- (北)・・・北市民プラザ
- (東)・・・東福祉館
- (公)・・・公民館
- (市)・・・国立市役所
- (ア)・・・アンケート等の文書による提出